

USA シニアチームとの親睦会

2025年10月9日

京都料亭「鶴清」にて

オウ オウ オウオウ / 暁フットボール / フレ フレ フレフレ♪

「六甲おろし」を土台にした「暁フットボールクラブ応援歌」で盛り上がりましたね。20人ほどの暁のメンバーがステージに上がり皆大きな声で楽しそうに歌っていました。会場のアメリカのお客さんも手拍子をして喜んでおられました。

昼間に吉祥院グラウンドで80歳代、75歳代、70歳代のカテゴリーごとに各2試合の親善試合が行われました。試合はホスト役の暁が気を使ったのでしょうか、いずれもUSAシニアチームに花を持たせる結果に終わりました。

その後、USAシニアチームの奥さん方を含む総勢約50名、暁関係者約30名が夜の親睦会に参加しました。牛場さんの流暢な英語での司会で会が始まりました。

アルコールが回り和やかな雰囲気では進むにつれてアメリカ人の男性の方、女性の方がステージに上がり、スピーチを始めました(何を言っているのか分かりません！)。しばらくして、内藤さんもステージに上がり、勇敢にも英語でのスピーチを読み上げ、英語の歌(Take Me Home, Country Roads(?))を歌ってくれました。勿論、何人かのアメリカ人が唱和してくれて会が盛り上がりました。それに引き続き、「暁フットボールクラブ応援歌」が歌われて一層の盛り上がりを見ました。今回は歌では暁が勝っていましたね。

英会話に自信のある人(?)は会話を楽しんでおられました。そうこうしているうちに予定の時間が来てお開きとなり三々五々お帰りになりました。

今回はロイヤル親睦会との同時開催もあってOBの方も何人かお見えになっていましたが、その方への配慮がちょっと気になりました。

これからも「暁フットボールクラブ応援歌」が歌われ続けられることを願って下に歌詞を書いておきます。

文責: 久保田建夫

暁フットボールクラブ応援歌 (作詞: チャット GPT)

1. 暁の風に / 颯爽と/緑の芝を/駆け抜ける/青春の力 / たくましく/
輝く我が名ぞ / 暁フットボール/オウ オウ オウオウ/暁フットボール/
フレ フレ フレフレ
2. 暁の空に / きらめいて/勝利の夢を / 追いかける/情熱の炎 / たぎらせて/ 輝く我が名ぞ / 暁フットボール/
オウ オウ オウオウ/暁フットボール/フレ フレ フレフレ

台風の影響もなくなり良い天気の下、国際親善試合を無事終わられ喜んでいきます。

会場準備・運営・観光案内等、若手Vの方にも協力をいただきました。

また協会のご尽力で吉祥院グラウンドが確保できました。

皆さんに感謝したいと思います。ありがとうございました。

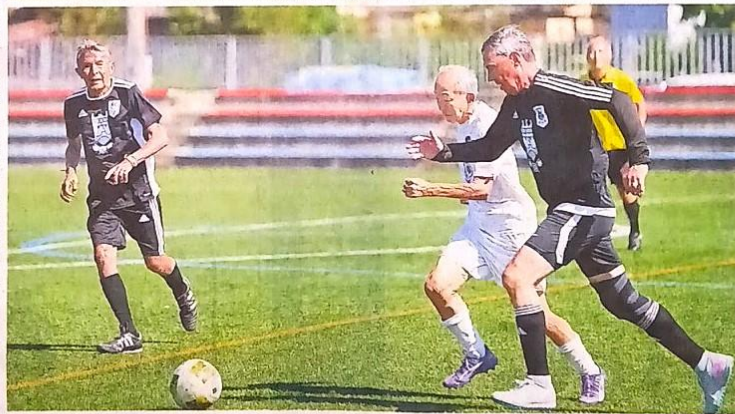
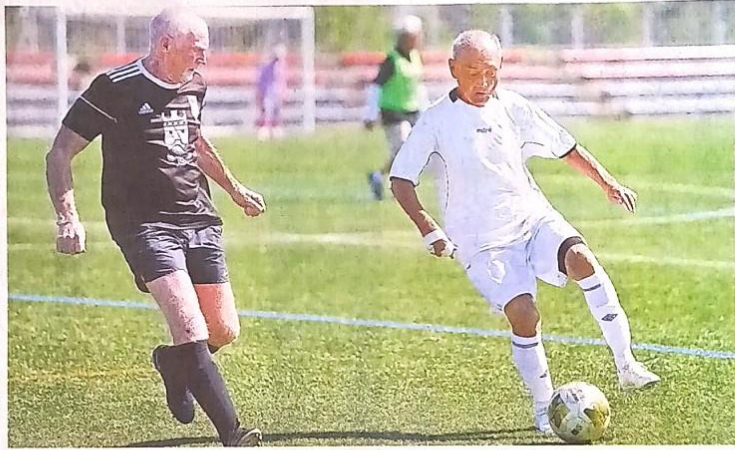
今回で4回目の開催となりましたが今後も続いていきますように。

事務局



熟練のプレー、白熱の日米戦

米国チームとの親善に出場し、前線で競り合う
75歳以上の部の参加者
(SBSロジコム吉祥院公園球技場)



日米のシニアサッカークラブが交流する親善試合が9日、京都市南区のSBSロジコム吉祥院公園球技場で開かれた。同市を拠点にする「京都暁フットボールクラブシニア」が企画し、70歳、75歳、80歳以上の年齢別の試合に80人超が出場した。ピッチ内では熱戦

を繰り広げ、試合後は懇親会を開いて親睦を深めた。

京都暁シニアは、大学や実業団までプレーした競技経験者が在籍。週に1回、同球場で練習を行っている。

日米親善試合は今回が4回目で、今回は10年前から交流がある同国の「N

京都暁シニア 米2チーム招き親善試合



試合前に全体で記念撮影を行った出場者ら

C「ユナイテッド」と、「チームアメリカ」を招いた。試合では激しいタックルやスライディングは禁止とし、70歳以上の試合は20分ハーフの11人制、75、80歳以上は15分ハーフの8人制で、ハーフコートで実施された。

参加者は巧みなパスやドリブルでゴール前に迫り、ボール保持者には体を寄せて厳しく対応するなど見応えのある試合を展開。75歳以上の部に出場し、こぼれ球に詰めてゴールを奪った林俊一さん(74)「左京区」は「国籍や言語に関係なくサッカーができるのが楽しい」と笑顔を見せた。

(梅垣里樹人)